

遠野市監査委員告示第5号

平成30年5月31日

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく工事監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資 光

遠野市監査委員 瀧 本 孝 一

平成30年度工事監査結果報告書（平成29年度施工分）

1 監査の期日及び対象

平成29年度に施工した市営建設工事について、書類監査は平成30年4月25日及び26日の2日間、現地監査は下表の日程で3日間、延べ5日間実施した。

期 日	工 事 名	請負金額	担当課（依頼先）
5月9日	宮守体育館改修（建築）工事	144,291,240円	市民協働課 （まちづくり推進課）
	遠野ふれあい交流センター外壁クラック補修及び塗装改修工事	59,981,040円	
	遠野市災害公営住宅（穀町団地第1期）（第2工区）建設工事	59,724,000円	まちづくり推進課
	遠野東中学校屋内運動場大規模改造（建築）工事	58,376,160円	財政担当 （まちづくり推進課）
	ケーブルモデムセンター装置更新工事	52,142,400円	I C T 担当
5月11日	附馬牛児童館新築（建築）工事	56,164,320円	こども政策課 （まちづくり推進課）
	附馬牛児童館新築（電気設備）工事	8,894,880円	
	附馬牛児童館新築（機械設備）工事	7,794,360円	
	遠野ふるさと村（肝煎りの家付属便所）茅葺屋根葺替工事	11,556,000円	観光交流課 （まちづくり推進課）
	遠野ふるさと村（肝煎りの家乗込み長屋）茅葺屋根改修工事	19,224,000円	
	重要文化財旧菊池家住宅保存修理（災害復旧）工事	6,005,880円	文化課
	28災40-018 太田(1)地区ほか2地区農地等災害復旧工事	28,828,440円	農林課
5月14日	遠野浄化センター中央監視設備更新工事その2	107,211,600円	水道事務所・下水道
	高室浄水場自家用水力発電所水車設備改良工事	6,676,560円	水道事務所・上水道
	28災742号 二級市道下柵内大櫓線（字下柵内橋）橋梁災害復旧工事	81,000,000円	建設課
	初音橋修繕（ゲルバーヒンジ部補強）工事	43,152,480円	
	市道長根下伊原下線拡幅工事	63,784,800円	地域開発室

書類監査のみ

—	赤羽根番屋線道路舗装工事	39,858,480円	建設課
	28災40-201白幡地区頭首工災害復旧工事	47,298,600円	
	小友簡易水道配水管布設替（桑畑2工区）工事	55,636,200円	水道事務所・上水道

2 監査の内容

工事の施工に係る事務執行の状況及び現地確認

3 監査の手順

- (1) 請負金額が 300万円以上の工事101件の概要について担当課長等から資料の提出を求め、そのうち20件（内3件は書類監査のみ。）を監査対象とした。
- (2) 事前監査として、監査対象工事に係る設計図書、契約書、施工状況その他の関係書類の提出を求めて書類監査を行い、疑義その他不明な事項については現地監査の前に担当課長等に説明及び補足資料の提出を求めた。
- (3) 現地において工事施工担当者等から説明を聴取し、工事の施工状況を確認した。

4 監査の結果

工事に係る契約その他の関係書類の事務処理において、下請注文請書の印紙誤り・過小が1件及び書類受領後における收受処理漏れなどが3件あった。これらに関しては、その都度、関係職員に対して口頭等で指摘し、不備は改善・訂正された。

今回の監査対象以外の工事においても、前記のような書類不備が無いよう再度確認を行うとともに、今後の書類整備に万全を期されたい。

なお、施工状況については、工事主管課等の工事監理のもと、設計図書、仕様書等に基づき必要な検査等も実施され、おおむね良好に施工されていた。特に平成28年8月の台風10号による農地・農業施設等の生産基盤施設及び道路・橋梁等の生活基盤施設への被害に係る災害復旧工事については、早急な市民の生業と生活の再建のため、迅速な対応がとられていたと認められる。

今後とも、契約書特記仕様書等に定めている事項の書類整備について確認を行うとともに、工事の設計及び施工にあたっては、一層の技術向上、経済性、安全性に配慮し、かつ請負者への指導も含めた適正な施工管理を期待する。

監査対象工事ごとの監査の結果については、次のとおりである。

○宮守体育館改修（建築）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

昭和51年3月竣工の当該施設については、外壁や屋根に老朽化に伴う顕著な損傷が見られていたことから、この必要性は十分である。また、屋内についても競技フロア内壁全面への衝撃緩衝材貼り付けや高輝度・点灯迅速なLED照明灯へ更新されたことで安心・快適に利用できることになったことから、地域のスポーツ振興と健康づくりの拠点施設としての活発な利用が期待される。今後は、さらに不測の事態への備えや利用者の安全確保に資する工夫や見直しに取り組んでほしい。

○遠野ふれあい交流センター外壁クラック補修及び塗装改修工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

市民にふれあいと研修の場を提供する施設であり、観光客や都市間交流の場として利用度が高い迎賓館的役割を果たす施設であるにもかかわらず、経年劣化と震災によって外壁に多数の亀裂が現れていたが、この補修によって市民や利用者の懸念・不安を払しょくできることから、実施の意義は非常に大きい。今後は、運営ソフト面での充実と、観光推進協議会など関係者間の連携強化が図られることによって、さらに利用者満足度が高まることを期待する。

○遠野市災害公営住宅（穀町団地第1期）（第2工区）建設工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

東日本大震災に伴う応急仮設住宅等に入居している被災者に対して恒久的災害公営住宅を供給するため、本市応急仮設住宅建設当初からの計画に従って建材の再活用を図りながら4棟8戸が建設された。住宅設備と各戸の配置については、入居者の利便性・経済性とコミュニティーのつながりを念頭に選定・決定されており、住む人にとって満足度の高い住宅に仕上げられている。

○遠野東中学校屋内運動場大規模改造（建築）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

木造建物としての長寿命化が図られるとともに、アリーナ内壁への反響防止吸音材貼り付けによる難聴解消では、学校授業進行において大きな効果が見られた。また、照明灯のLED化に伴い館内が明るくなったことから、一般利用においては運動以外の用途へも広く活用されることが期待される。

なお、他小中学校においても同様の障害がないかどうかを確認する必要がある。

○ケーブルモデムセンター装置更新工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

すでに機器更新時期を迎えるも、予算上の制約から保守契約で対応されてきたが、保守点検も困難となり実施された。同軸ケーブルによる現状の通信システムにおいては重要で必要不可欠な工事であり、更新によって安定したデータ通信サービスが可能になり、加入者が安心して利用できることにはなったが、光通信化という近い将来避けて通れない重要課題に対しては一時的な対応になることから、根本的な対策の打ち出しを担当課に期待したい。

○附馬牛児童館新築（建築）工事

附馬牛児童館新築（電気設備）工事

附馬牛児童館新築（機械設備）工事

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

遊戯室を附馬牛保育園と共用する合築方式で建設され、単独設置に比べて利用児童にとって快適である等の相乗効果が期待される手法となっている。また、小学校、地区センター、社会福祉関係施設等が所在する地域の協力体制が整った場所に設けられ、子育てするなら遠野の具現化として子育て環境の支援・充実に寄与すると認められる。

児童館・保育園それぞれでは、各施設運営上の安全対策を独自にきっちりと設定されているが、一つの建物に共存する施設として、突発的な事故・災害等が発生した場合に、よりスムーズな相互連携ができるよう見直し、改善の努力も続けていただきたい。

なお、変更契約により当初計画に比較して金額が電気設備では32.69%・機械設備では38.66%増額となったことは、基本実施計画作成段階での吟味が不足と思われる。

○遠野ふるさと村（肝煎りの家付属便所）茅葺屋根葺替工事

遠野ふるさと村（肝煎りの家乗込み長屋）茅葺屋根葺替工事

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

第2次遠野市伝統かやぶき屋根再生事業方針に基づく計画的な改修工事であり、観光資源の維持及び施設の長寿命化の目的は達せられ、茅葺屋根施設の伝統継承維持と茅葺職人の確保や技術の継承に必要な工事であると認められる。

なお、本工事は同時に「遠野かやぶき士」の実力発揮・技能向上の機会でもあることから、遠野職業訓練校との連携のもと、もっと「職人の技」を外部に向けてアピールするとともに、同方針に沿って屋根の葺き替え工事を計画的に進めるためには茅葺職人が不足していると感じられたことから、職人養成の継続的な取り組みを検討されたい。

○重要文化財旧菊池家住宅保存修理（災害復旧）工事

[指摘事項]

特になし

[意見・要望]

重要文化財であることから伝統工法による修理工事となり、土間たたき材（土・石灰・にがり）の配合から作業方法まで、全てが試行錯誤の連続で苦労した様子だったが、被災前と同じように原状回復が果たされたことは歓迎すべき成果と認められるところであり、今後の千葉家をはじめとする伝統家屋の修復に当たり貴重なノウハウが得られたと思われる。

今後は、越水による同様の被害に再び遭わないよう、周辺水路の整備や河川の護岸等整備を希望する。

○28災40-018 太田(1)地区ほか2地区農地等災害復旧工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年8月の台風10号による農地及び農業用施設の被害について、発生件数が多数に上った中を早急に工事が進められ、翌年度の作付けに間に合うよう努力し、順調に工事完了したことは評価できる。

○遠野浄化センター中央監視設備更新工事その2

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

供用開始から21年経過して劣化が進んでいた設備について、長寿命化対策工事計画に基づき、国の社会資本整備総合交付金を活用して着実に更新が図られた。

下水処理施設は、市民の生活環境基盤の重要な施設の一つであり、この更新による維持管理の機能・精度の向上で、市民生活の安定と安心が確保されたと認められる。

○高室浄水場自家用水力発電所水車設備改良工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

水車設備の経年劣化による発電効率低下の未然防止や、電気設備故障時には迅速対応により安全な発電業務を継続するための対策が計画的に行われ、十分な安心感が担保されていると同時に、発電電力の約半分はふるさと公社（水光園）で使用して経費節減を図り、残余は電力会社へ売却していることから、高い経済性も認められた。

○28災742号 二級市道下栃内大櫓線（字下栃内橋）橋梁災害復旧工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年8月の台風10号の豪雨河川氾濫によって落橋した橋梁について、生活道路の早急な機能回復を願う地区住民の期待に応えるべく速やかに復旧したことは、地域住民の利便性の回復と安心安全につながったと認められる。また、復旧までの間、遠回り迂回路利用の不便を強いられる地域住民に対して、作業や計画の概要、工事中には進捗状況を丁寧に説明して理解いただいた姿勢は評価される。

○初音橋修繕（ゲルバーヒンジ部補強）工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

建設後60余年経過により老朽化した、ゲルバーヒンジ橋という県内にはあまり例をみない構造の橋梁について、橋梁長寿命化計画に基づく調査、修繕及び今回の補強まで延べ3年の期間と多額の費用を要して完了した難工事であった。最後に落下防止安全装置の役割を果たすヒンジ部の補強工事が実施されたことで耐久性が向上し、安心安全な橋梁整備ができたと認められる。

○市道長根下伊原下線拡幅工事

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

地域再生計画で東工業団地の将来構想を考える際の、まさに基盤となるものの一つである。東工業団地拡張整備や企業誘致推進といった事業の成否にも結び付く重要な市道について、車道拡幅や片側歩道の設置など取付道路の整備が計画に沿って進められていた。すべての基盤整備完了後においては、多数の企業を誘致することに成功し、もって、市民の雇用が増えることを期待したい。

【書類監査のみ】

○赤羽根番屋線道路舗装工事

○28災40-201白幡地区頭首工災害復旧工事

○小友簡易水道配水管布設替（桑畑2工区）工事

〔指摘事項〕

特になし